BODART &GONAY ベルギー ボダート&ゴーネイ社製 暖炉

In-Fire

743 (HI-47M74B3B)　**FUEGO** (HI-47M9374F)　**1003** (ECHI47MI10A)
SCOPE (左開口 HI-47M75BSG) (右開口 HI-47M75BSD)　**PRISMA** (HI-47740P13)

取扱説明書

世界の名品に信頼を添えて

このたびは、ベルギー ボダート＆ゴーネイ社製、In Fireシリーズストーブをお買い上げくださいまして、ありがとうございました。
743はマントルピースに埋め込むことで重厚感あふれるインテリアとして、FUEGOは自立型の暖炉として、1003は小型ファンを2個搭載し、部屋を万遍なく暖めます。また、PRISMAは屈折したガラス面が炎の美しさを際立たせ、SCOPEはお部屋にアクセントをもたらすコーナータイプの暖炉です。
いずれもヨーロッパの安全規格である、CEマークを取得しています。
ご使用する前に、本説明書をお読みいただき、正しくお使いいただき、安全で快適な暮らしにお役立てください。
この取り扱い説明書では、In Fireの4機種を共通で解説しています。
また、この取り扱い説明書は保証書を兼ねていますので、大切に保管してください。

目　次

安全上の注意

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
この章に記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告表示について

警告 人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。

注意 人が怪我または製品に損害を与える恐れがあります。

警 告

警告

暖炉をご使用になる前に、設置業者に、設置説明書に記載の作業と点検事項が正しく行われており、煙突が清掃され、正常な状態であり、障害物のないことを確認して下さい。

警告

暖炉が高温になることと、硬質材料で作られていますので、ご使用の前に転倒することがないよう、バランスがとれていることを確認して下さい。

警告

暖炉に火が付いている時には、暖炉やその周辺でスプレーを使用しないでください。スプレー缶の爆発や引火の危険があります。

警告

幼児、老人、病人などが存在する環境で暖炉を使用する場合は、暖炉との接触事故を防ぐために囲い金網を使用してください。

警告

塩水や海水に浸かった流木や、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、紙類、生ゴミは絶対に燃やさないでください。有機物質の発生、及び、本体や煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。

警告

暖炉本体の上や周辺、及び煙突の周囲には、引火性のあるガソリン、灯油、揮発性のある液体や、スプレー缶などの高圧容器等を置かないでください。火災や有害物質の発生の原因となります。

警告

修理技術者以外の方は、本体や煙突の分解・修理を行わないでください。故障と思われる時は販売店にご相談下さい。

警告

ご就寝やお出かけの際には、暖炉の全てのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、周囲に燃えやすいものが無いことをご確認ください。

警告

薪の入れ過ぎに注意してください。 燃焼され過ぎた状態が続くと、本体や煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので、 燃焼空気の調整をしてください。

警告

本体及び煙突の設置は、建築基準法、及び消防法、お住まいの地域の火災予防条例に従ってください。また、火災報知器、煙感知器、消火器等が設置されていることをご確認ください。

警告

暖炉は室内の空気を燃焼し、その空気は煙突より排出されます。従って、室内には常に空気の流入が必要です。そのため、特に高気密住宅では必ず換気口を設けてください。また、室外に空気を強制的に排出する換気扇の使用は止めてください。
室内に空気が供給されないと、酸素不足による一酸化炭素が発生する危険があります。

警告

灰の処理は、火の気が完全に鎮火したことをご確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物の無い場所に保管してください。72時間以上経過してから、冷えていることを確かめて処理してください。可燃性のある物の上や場所に保管しますと、熱が伝わり火災の原因となります。

警告

万が一、煙突火災が発生した場合には、速やかに暖炉の各ドア及び空気調整レバーを閉じてください。後に必ず専門業者に点検を依頼してください。

警告

灰受けドアを開けたまま使用しないでください。空気が調節できずに過燃焼となり、本体の破損や火災の原因となります。

警告

大きな地震や落雷があった場合、破損や変形を生じている可能性があります。ご使用前に本体や煙突の点検を必ず行ってください。異常が見つかった場合は、ご使用にならずお買い求めの店までご相談ください。

注 意

注意

暖炉の使用方法については、この取扱説明書をお読みください。

注意

ご使用中は本体や煙突が非常に高温になりますので、火傷には十分ご注意ください。ドアの開閉や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、暖炉用グローブをご使用ください。

注意

焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。 本体と煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙とともに臭いが発生します。

注意

ご使用中、万が一火傷を負った場合は、応急処置として、すぐに患部を流水にて15分以上冷やしてください。なお、その際強い水圧は当てないでください。

注意

ご使用中に暖炉の各ドアを開けたまま本体のそばから離れないでください。火の粉が飛ぶ恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性がありますので、必ず扉が閉まっていることを確認してください。

注意

灰の処理は、暖炉本体が冷えている状態で行ってください。火傷の原因となります。

注意

定期的に本体や煙突のメンテナンスを行ってください。 使用しているうちにススがたまり、それが多くなると、引火して煙道内火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも１年に１回はメンテナンスを行ってください。

注意

お子様を暖炉に近づけないでください。火傷や怪我の危険があります。あらかじめ、暖炉用ゲージを設けることをお勧めします。

注意

本体、煙突に強い衝撃を与えないでください。

1 付属品

743、フエゴ、
プリズマ用
ドアハンドル

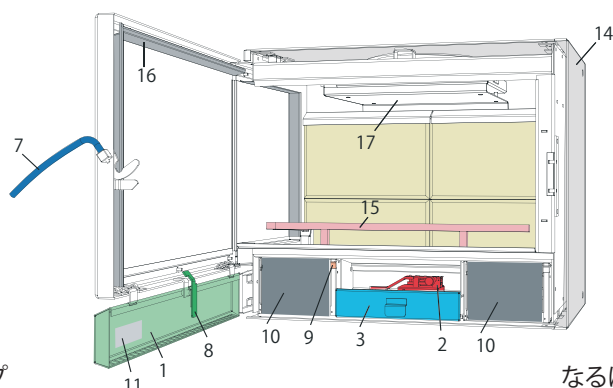
1003、
スコープ用
ドアハンドル

火かき棒（共通）

2 仕様

	In-Fire 743	In-Fire FUEGO	In-Fire 1003	In-Fire PRISMA	In-Fire SCOPE
最高出力 (kW)	10	10	14	12	11
暖房方式			対流式		
暖房の目安（坪）	28〜35	28〜35	28〜35	28〜35	28〜35
熱効率 (%)	72	72	78	72	78
排気温度 (℃)	272.3	272.3	345	272.3	272.3
煙突径 (mm)			180		
寸法 (mm)	804(W)×428(D)×668(H)	786(W)×451(D)×649(H)	800(W)×493(D)×641(H)	728(W)×532(D)×598(H)	740(W)×455(D)×600(H)
重量 (kg)	110	160	169	114	115
送風機 * 電源			100V 50/60Hz		
消費電力 (W)			45×2		
風量 (㎥ /h)			140×2		

* 送風機は 2 基実装されます。

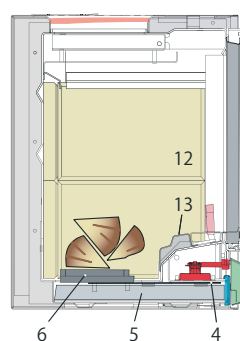
3 各部の名称

1. ドアフラップ

ガラス扉を閉めたままフラップを開け閉めできます。

ガラス扉を開ける時はフラップは閉じた状態にして下さい。

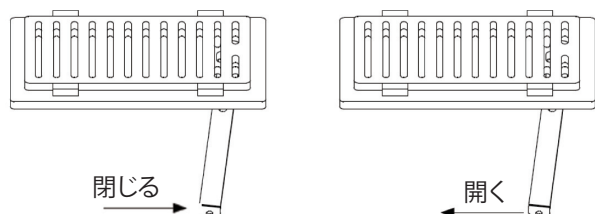
2. 温度調節つまみ

このつまみを回す事によって1次エアーの量が加減できます。

ポジションによって燃え方が変わります。0〜9と数字が大きくなるほど炎が大きくなります。

3. 灰受け扉

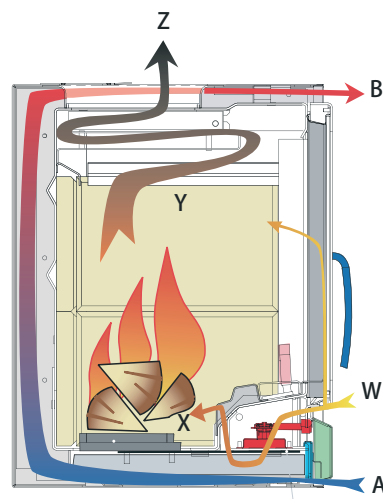
この扉の奥に灰受け皿が入っています。使用中は扉はきちんと閉めておいて下さい。

開いた状態であると、エアーの調節が効かなくなり、オーバーヒートする事があります。

4. 火床調節レバー
掃除の時、左右に動かし灰を落とす事ができます。
通常は閉じておいてて下さい。

5. 灰受け皿
灰がたまり過ぎないよう、早めに掃除をして下さい。小型のシャベルやほうきがあると便利です。
6. 2重の火床
7. ドアハンドル
取手は取り外し式になっています。レバーを手前に引くと開きます。
8. クローズレバー
ドアフラップを閉める時、レバーを持ち上げるとフラップは閉まります。
9. マイクロスイッチ
ドアを開けると、自動的に対流フアンがストップします。
10. エアーフィルター
対流フアンの給気口についたエアフィルターです。時々、外して清掃して下さい。
11. ファイヤープレイス認識ラベル
12. 耐火ブリック
炉内にある耐火ブリックで暖炉本体を守っています。
13. ディストリピューター
1次燃焼用空気を規則的に供給します。
14. ケース（対流式ボックス）
15. ログガード
安全の為にガラスを薪から守ったり、崩れおちてくるのを防ぎます。
16. インナードア
17. バッフルプレート
ステンレススティール製で、燃焼用空気流を調節します。

3 暖炉に係わる空気の流れ

暖炉には室内の空気を取り込み、薪を燃やして煙突から流出する空気の流れ（下図、W→X→Y→Z）と、同じく室内から空気を取り込み、暖炉の周囲を通過し、暖められてふたたび室内に放出される空気の流れ（A→B）があります。

W→Zの空気流は自然対流ですが、A→Bはファンによる強制対流です。
従って、下記の警告を守ってください。

室内の換気について

ストーブは室内の空気を燃焼し、その空気は煙突より排出されます。従って、室内には常にその部屋以外のところからの空気の流入が必要です。
そのため、特に高気密住宅では空気の流入口を設けてください。
また、室外に空気を排出する換気扇の使用は止めてください。
室内に十分に空気を供給する必要があります。

4 燃料について

燃料は、代採し割った後に、乾燥した風通しの良い場所で 1 年以上、できれば2年乾燥させた広葉樹材（ナラ、クヌギ、カシなど）の薪を使用してください。
湿気の多い薪を燃やすと暖炉本体、ガラス部、煙突内部に多量のタールが付着し、また熱量も大幅に低くなりますので、十分に乾燥した薪だけを使用してください。
コークス、家庭ごみを燃やすことはは使用できません。これらを使用すると保証が無効になります。
新聞紙は着火の時にのみお使いください。
他の燃料に関しては、（株）アドヴァン、または代理店にお問い合わせください。

5 暖炉を使う

1 着火前の確認事項

最初に着火する前に、下記の点をご確認ください。
◆水平に設置されていますか？
◆煙突に正しく接続されていますか？
◆床上80cm以内に紙などの可燃物は置かれていませんか？
◆ドアはきっちりと閉まりますか？

注意

初めての着火の際は、燃焼室に塗布されたシリコンペイントが熱に反応して、煙と匂いが暖炉から発生します。これは正常な反応であり短時間で解消しますが、部屋の換気は十分に行ってください。
最初は、大きな薪は使用せずに、2時間ほどゆっくりと燃焼させてください。

着火の際には以下の点に注意を払ってください。
1）暖炉が設置された部屋の空気の入れ替えを強力かつ確実に行ってください。
2）この後に、燃料の量を徐々に増やし（最大燃料量に関する記述に従ってください）、可能ならば、初期段階では頻繁な着火/消火サイクルを避けて、長時間の燃焼を心がけます。

2 着火の方法

1）空気量を十分に確保するために温度調節つまみ②を引っ張り目盛りを9に合わせて下さい。

2）火床調節レバー⑤を左に動かし、オープンポジションにして下さい。（各部の名称の項参照）

3）火床に薪を置きます。
着火材のまわりに空気が入るように薪を組んで下さい。

4）その上に丸めた新聞紙をのせます。

5）その上に焚き付け用の薄い木を乗せ、ライター等で火をつけます。

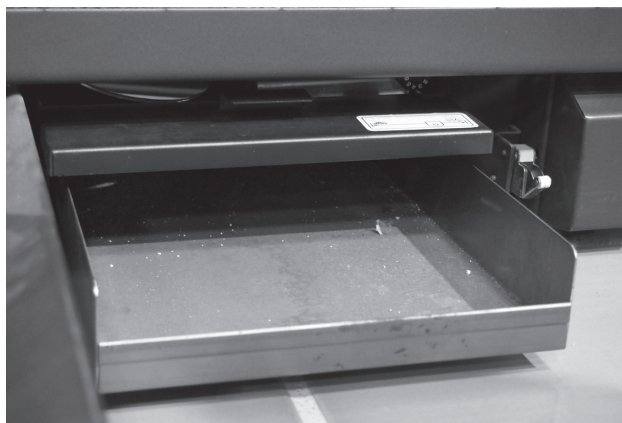
＊説明写真は PRISMA を使用しておりますが、他機種もほぼ同様です。

６）着火時の窓部へのススの付着を避けるために、ドアをほんの少し開けたままにします。温度が低いとススの付着の原因となります。
適度な炎が上がり、ガラス部の温度が十分に高くなったらドアを閉めます。

７）炎が十分に上がったら、ファンのスイッチを入れます。
しっかり火が点いたら、火床調節レバー⑤で右に動かし、クローズポジションにして下さい。
あとはお好みでコントローラーを操作し、風量の調節をして下さい。

ノブを反時計方向に回すと風量が大きくなります。

８）消火
消火する場合、薪は自然に燃え尽きさせます。火力調節レバーを止まるところまで左に回します。すると燃焼用空気取り入れ口が最低になり、炎が自然に消え炭火状態になります。
ただし、まだ燃えかけの薪がある場合、くすぶって煙を充満させてしまいます。
火を消す前30分程は、薪を追加しないで下さい。
急いで火を消す必要がある場合でも、水は絶対にかけないで下さい。

９）灰の始末
灰の始末は、火が完全に消えて本体と、灰の熱も完全に冷めてから行って下さい。
まず火床レバーを何度か左右に動かし、火床に残っている灰を灰受け皿に落として下さい。その後、扉を開けて下段にある灰受け皿に多機能ハンドルをかけて取り出します。
灰は不燃性の容器（陶器や金属のバケツ等）に入れて、不燃材の上に置き、3日以上置いてから処分して下さい。

注意

暖炉を使用中はファンのスイッチは常時オンにしておいてください。
オフにするのは暖炉が冷えてからにしてください。
停電時は暖炉の使用を止めるか、燃焼を最少にしてください。

3 薪の量

使用する薪の品質と湿気は最適な燃焼（効率、火力、窓の清潔さを保つこと）のために最も重要です。

良質の薪とは

・換気された保管場所で2年以上乾燥されている。

・樹脂を含み速く燃焼して多くのススを発生させる針葉樹より、ナラ、カシ、クヌギなど広葉樹の薪をご使用ください。

薪の入れ過ぎは以下の原因となります：

・効率が悪く、薪の消費量を増やします。

・煙突からの大きな熱損失を起こします。

・暖炉と煙道の劣化を早めます。

薪の量	743	FUEGO	1003	PRISMA	SCOPE
低燃焼時（kg）	9	9	-	9	-
最大燃焼時（kg）	3.6	3.6	-	3.6	4

4 効率よく燃やすために

1. よく乾いた割った薪を1～2本使用する。
2. 燃焼を促進するために薪は適度にずらして組む。
3. ファン速度は高めに設定する。

5 弱く、長時間燃やすには

低燃焼時の一回の最大許容量の薪を入れます。

1. 暖炉の火床には熾の厚さを3～5センチに保ちます。
2. 大きめの薪を入れます。

薪を並行に並べると火が長持ちします。火が消えた後に、熾火が残っていれば薪を足すことができます。

警告

弱く、長時間暖炉を使用すると、結露により煙突にススの蓄積を引き起こす可能性があります。蓄積したススは、煙道火災の原因となり、またガラスを汚すことにもなります。

低気圧、高湿気など天候条件が不適当な場合は煙の発生の原因となることがありますので、そのような時は、しっかり完全燃焼するように心がけてください。

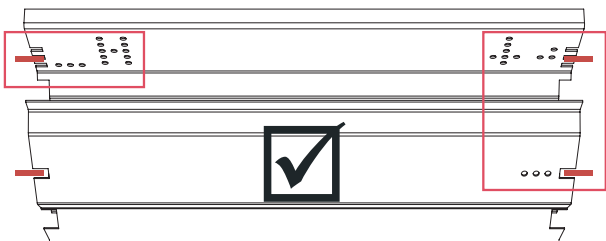
6 バッフル（遮蔽板）の設定と使用方法

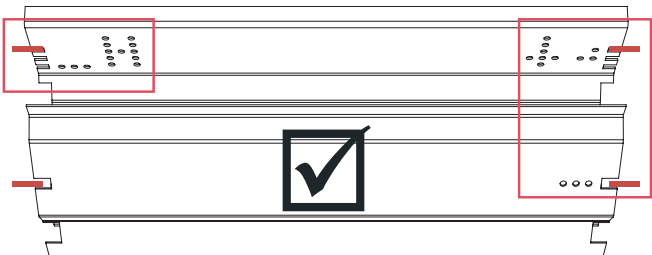
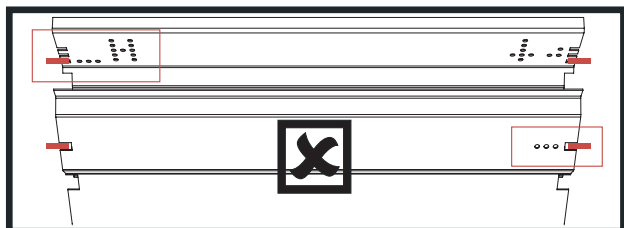
暖炉には2枚のバッフル板があります。このバッフル板の開閉によって暖炉への通気を最適な状態で燃焼するようコントロールします。

●全開位置

この位置にすると通気が最大になり、煙が流れやすくなります。

●中間位置

暖炉を開けると煙が出てしまう場合、バッフルは、燃焼効率を上げるために閉じることができます。そうするには、1つの（場合によっては2つ）バッフルの上の方のパネルをスライドさせて2枚を少し離します。

●全閉位置

中間位置で煙が発生しない場合は、暖炉から煙突に伝わる最良の効率を得るためにバッフルを完全に閉じます。バッフルの上の方のパネルを完全に離して、煙の流出を抑え、確実にガスを最大燃焼させます。

●禁止位置
バッフルをこの位置にすると不完全燃焼を起こす危険があり
ますので、注意してください。

7 メンテナンス

1 扉ガラスの清掃

扉ガラスについたススは、直ちにふき取ってください。汚れが落ちにくい時は専用のガラスクリーナーをご使用ください。

警告

＊ガラスが熱い間は清掃しないでください。
＊窓の中心にガラスクリーナーをスプレイし、吸収性のある布か紙タオルで広げます。
＊塗装部にはガラスクリーナーを使わないでください。
＊ガラスの清掃は定期的に行うと汚れがひどくならず、楽です。

2 煙突清掃

暖炉は、使用しているうちに煙突内にタールが付着します。これをそのまま放置していると、煙突内で発生する煙道火災の原因になります。
煙道掃除は、最低でも1年に1回、オフシーズンに行うと良いでしょう。

1）煙突のトップを外し、鳥除けのネットなどを清掃します。
2）煙突掃除用ブラシを煙突内に入れて3～4回上下させて内側の汚れを落とします。
3）煙突の下端部にたまった煤を取り除きます。

※屋根の上での作業は大変危険です。煙突掃除を行っている業者に相談する事をお勧めします。

8 トラブルシューティング

症状	原因	対策
薪が燃えない。	湿った薪を使っている。	薪は一年以上乾燥させたものを使って下さい。
	太い薪を使用している。	最初は細い薪を燃やし、徐々に太い薪を燃やしてください。
	給気の量が足りない	燃焼空気取入れ口を開いて下さい。
	煙突がススでつまっている。	煙突掃除を行って下さい。
室内に煙が戻る。	換気扇が回っている。	換気扇を止めて下さい。
	煙突の曲がりや横引きが多い。	煙突の曲がりをなくしてください。（施工をやり直す必要がある場合があります。）
	煙突の長さが足りない	煙突を追加する必要があります。
	煙突がススでつまっている。	煙突掃除を行って下さい。
	煙突トップが詰まっている。	清掃を行って下さい。
薪の燃焼が早すぎる。	給気の量が多すぎる。	燃焼給気を絞って下さい。
	細い薪を多く利用している。	太い薪も使用して下さい。
	針葉樹を燃やしている。	針葉樹は燃え尽きるのが早いため、広葉樹の薪をお勧めします。
	扉がしっかり閉まっていない。	扉をしっかり閉めて下さい。
ドアガラスがくもる。	給気を絞るタイミングが早すぎる。	低温度域で燃焼を弱めると、不完全燃焼になり、ススやタールが発生しやすくなります。炎が薪全体に回ってから火力を調整して下さい。
	扉がしっかり閉まっていない。	扉をしっかり閉めて下さい。

保証規定、及び保証書

＊この保証書は本書に明示した保証規定のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊この保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

● 保証規定

1.正常な使用状況で保証期間内に故障した場合は無償にて修理いたします。但し、出張修理の場合、交通費実費を申し受けます。
2. ご転居の場合は事前にお取扱い店にご相談ください。
3. 贈答品などで、本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼できない場合には（株）アドヴァンお客様相談窓口にご相談ください。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負いかねます。
5. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   1) 保証書の提示がない場合、及び期限切れの場合
   2) 保証書に所定の事項の記入がない場合、字句が書き換えられた場合。
   3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変、公害や塩害による故障、および損傷。
   4) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障、および損傷。
   5) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、および使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   6) 本体外装部以外の消耗品（ガラス、ガスケット、バッフルプレート、火床、灰受け、耐火レンガ、ヒンジ等）が自然劣化・消耗した場合。
   7) 指定以外の燃料を使用した場合。
   8) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下による故障、および損傷。
   9) 取り扱い説明書に記載されている注意に反するお取り扱いによって発生した故障、および損傷。
   10) 煙突部分。
   11) 下地の強度不足、建築躯体の変形等の不具合に起因する故障、および損傷。
   12) 工事の不具合により発生した故障、および損傷。

● 修理のご依頼について

1. 部品交換や修理については販売店へご相談ください。
2. 修理期間は製品・部品によっては時間がかかる場合がございますのでご了承ください。
3. 修理期間中の代品の貸出しは一切行っていません。

株式会社 アドヴァン　お客様相談窓口
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-32-14
TEL. 03-3475-0291 FAX. 03-3475-0308

保　証　書

製品名	In-Fire 743, FUEGO, 1003, SCOPE, PRISMA（いずれかを○で囲んでください） シリアルNo.
保証期間	（納入日）　年　月　日より 1 年
お客様名	
ご住所	〒　－　　お電話番号
設置場所	〒　－　　お電話番号
取り扱い支店（販売店）名	

＊この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。